

電気絶縁材料シンポジウムについて

(序 説)

鳳 誠 三 郎

(東京大学)

1. シンポジウム開催のいきさつ

電気学会には、技術委員会と言う調査研究組織があり、17の分野に分かれて夫々活動をして居る訳であります。そのなかに「電気材料技術委員会」があります。この電気材料技術委員会のなかに、更に下記のような「専門委員会」があって、具体的な調査研究活動を行なっております。

電気材料技術委員会
内の専門委員会

常置委員会

- 磁性材料
- 絶縁材料耐熱性試験法
- 絶縁材料コロナ劣化
- 電気機器用アルミニウム導体
- 絶縁材料トリッキング
- ベリリウム銅合金

調査委員会

研究委員会

- 誘電材料導電特性

このシンポジウムは、上記のような電気材料技術委員会のなかの絶縁関係の専門委員会を担当する委員長・幹事の諸氏並に本問題に関心の深い方々が中心となって企画されたものでありまして、実行委員会は次のメンバーで構成されました。

委員長：中島（電試） 委員：能登（秋田大） 金指（電試） 矢作（早大）
幹事：田中（電中研） 伊東（電試）

2. シンポジウムの目的

絶縁材料に関する問題点・研究成果などについて、このテーマに関心の深い方々が一堂に会して、互に情報を交換することが、この分野の研究活動・又は研究面と実用面とを結びつける上で重要な意義を持つことは言うまでもないことで、このシンポジウムの目的の第一はこれであると思われれます。また所謂連合大会の枠内では、充分な討論の時間がないので、この欠点を補うことも、1つの目的であると言えましょう。

3. 将来への希望

今回は第1回の試みであるので、テーマを固体絶縁材料に絞っても、尚且つ盛り沢山となって、討論に充分な時間が残されて居ないと懸念されます。又将来は、液体、気体、複合誘電体の問題も採り上げることと思いますが、要はこのようなシンポジウムが定期的且つ長期に渉って実現するように努力して戴き度いと希望致します。

このシンポジウムが企画された当時、電気材料技術委員会の委員長であった関係から、私が序説を申し述べることに相成りましたが、上記実行委員の方々並にこの企画に御協力御参加を戴いた諸賢に深い感謝と敬意を表明致したいと存じます。